

(社) 日本原子力学会 標準委員会 リスク専門部会  
第 96 回 レベル 1PRA 分科会 議事録

1. 日時 第 96 回 : 2019 年 8 月 28 日 (水) 13:30~17:00

2. 場所 電力中央研究所大手町地区 734 会議室

3. 出席者

(出席委員) 高田主査, 桐本副主査, 橋本幹事, 石田, 岩谷, 二木, 池田 (芳),  
佐藤 (遼) (佐藤 (輝) 代理), 黒岩, 塩田, 藤井 (小森代理) (11 名)  
(常時参加者) 濱口, 友澤, 藤崎, 不破, 池田 (敦) (5 名)

(敬称略)

4. 配布資料

- P4SC-96-1 第 95 回 L1PRA 分科会議事録 (案)
- P4SC-96-2 標準の階層化・体系化に関する部会議論
- P4SC-96-3 L1PRA 標準統合性能化案コメント対応
- P4SC-96-4-1 内の事象 L1PRA 標準 統合性能化 基準案
- P4SC-96-4-2 内の事象 L1PRA 標準 統合性能化 指針案
- P4SC-96-4-3 内の事象 L1PRA 標準 統合性能化 適用事例候補

5. 議事内容

(1) 出席者/資料確認

委員 11 名が出席しており, 分科会成立に必要な定足数を満足している旨が報告された。  
また, 配布された資料が確認された。

(2) 第 95 回議事録の確認

資料 P4SC-96-1 を用いて第 95 回分科会の議事録を確認した。コメントがあれば連絡いただくこととし, 特になければこのまま正式版とすることとなった。

(3) L1PRA 標準統合性能化

資料 P4SC-96-2 及び資料 P4SC-96-3 により, 標準の性能化・階層化に関する専門部会議論について紹介があった。また, 資料 P4SC-96-4-1 から 4-3 により, L1PRA 標準統合性能化案について検討した。主な議論は次のとおり。

- ・標準の性能化・階層化については, 標準委員会でも報告するので, その資料を別途メール送付する。

- ・規格や用語などの引用において、基準で引用のものは指針では無用とすることでよいか。今後、位置づけの明確化やルールの整理が必要。
- ・基準で PRA に必要となる要件を完結すべき。この点からは品質確保など他の標準の引用は基準で行うことでよいのではないか。
- ・PRA での実使用やピアレビューにおいては、基準と指針を合わせて利用していくことになり、基準と指針でセットと捉えることもできる。また、要求のカテゴリ分けが、how to 部分であれば指針でよいが、what to にも関わるのであれば、基準で規定することも考えられる。これらのことも踏まえて、基準・指針の位置づけのコンセンサスを構築していくことが必要。
- ・用語として「要件」は基準での使用とし、指針では「事項」など別の用語とすべき。
- ・「プラント情報の調査」に関して、現在品質確保標準で PRA の configuration control について検討されているので、その方向性を反映して規定振りを見直してはどうか。現時点での品質確保標準での議論を別途紹介頂き、平行して検討してみる。
- ・レベル 2PRA とのインターフェイスは品質確保とは距離がある。指針にあるレベル 2PRA とのインターフェイス規定は、該当する各項目に移設し、これに対応する基準を追加する。
- ・基準において他の標準を引用する場合は、5.2.5 文書化のように、要求事項を先に記してから引用を記載する形で統一できるか検討する。また、指針 5.2.2 での文書化の構成において、「必要となる詳細な情報」での「詳細な」は無用ではないか。
- ・6.1 POS の分類と設定において、出だしの背景説明は基準と指針で逆がよいのではないか。
- ・6.2.1 運転サイクルの POS 設定において、運転と停止の境界設定について従来からある区分図などをベースに指針での規定を明確にし、必要により附属書なども検討する。
- ・6.2.2 停止時の POS 分類における表 2 の内容は、基準か指針か今後の検討も踏まえてバランスを図る。
- ・6.2.3 POS の妥当性確認では、ASME/ANS 標準のカテゴリ分けも参考に、現状の基準での規定との調整を合わせて、指針としての規定を検討する。

#### (4) スケジュール, その他

本年度の倫理教育を行った。欠席の委員には後日お送りする資料により自習頂くこととした。また、5 年計画の来年度更新の依頼がきており、部会等での議論や今回での議論の進め方も参考に、策定スケジュールを再調整する。

次回分科会は 10 月 4 日 PM の予定とする。

以上